

「テレワーク推進」の失敗事例から学ぶ成功のポイントとは？

「テレワークを導入したが、生産性が思うように向上しない・・・」そうしたお悩みをお持ちではありませんか？この記事では、テレワークの推進でのお悩みを少しでも解消していただけるよう、弊社独自の視点に基づいた「テレワークの推進で考慮すべきポイント」をご紹介します。



テレワーク推進の秘訣はコミュニケーションの活性化にあり！

新型コロナウイルス感染症の影響もあって、テレワークの導入が急速に拡大しました。反面、テレワークだけでは生産性が思うように向上しないなどの課題も浮き彫りになっています。

そうした中、ハイブリッドワーク（オフィスワークとテレワークを組合わせた働き方）への移行を模索している企業が増えています。ただ、ハイブリッドワークへの移行を模索したとしても「テレワークの推進」は今後も検討課題として継続されると考えられます。

では、「テレワークの推進」を行う上で、「テレワークで生産性が向上しない理由」は何か？どう対応すれば良いのか？課題発掘～解決策の流れでご紹介したいと思います。

総務省の「ウイズコロナにおけるデジタル活用の実態と利用者意識の変化に関する調査研究」では、テレワークの課題として「社員同士のコミュニケーション」の回答が17.8%、「上司からの確認・支持を得にくい」が10.8%に上がっているとのこと。

テレワークを利用している社員にとって、コミュニケーション上の問題は軽視することはできないことがわかります。では、「コミュニケーションが不足しやすい要因」は何かを考察してみると・・・

- ・文章（テキスト）が中心のやりとりとなっている
- ・口頭でのコミュニケーションは難度が高い
- ・コミュニケーションの内容が業務内容に偏る
- ・ネットワーク環境の影響で繋がりにくい
- ・ツールの操作が意外と難しい

その他にも様々な要因もあるかと思いますが、上記の要因から導く解決策は、以下の通りであると考えます。

会話などの頻度を増やすためのツールと利用環境の整備があれば、コミュニケーションは活性化できると考えます！

では、必要なツールとは？

テレワークでは、コミュニケーションがオンラインになるので、ITツールの活用は必要不可欠です。そのITツールの三大要素とされているのは以下のツールとなります。

— ITツールの3大要素 —



Web会議システム

ビジネスチャット

タスク管理

コミュニケーションに必要な環境とは？

ツールの導入だけでは根本的な解決になりません。業務への対応状況が相手に見えない・伝わらないからこそ、「どう伝えるのか？」の工夫（運用ルールなど）が重要になると考えます。弊社では、テレワークの時には以下のことを実践しています。

- ・大前提として「操作しやすい」、「簡単に導入できる」ツールを選定する
- ・チャットは小まめに確認するようにしている
- ・メンバー間でスケジュールを共有している
- ・業務の進捗状況など、都度、報連相している
- ・Web会議では、顔を見せるようにしている

以上が、弊社独自の視点に基づいた「テレワークの推進で考慮すべきポイント」の内容となります。ご紹介する内容は、あくまでも一例ですが、ご参考にしていただくと幸いです。

お客様の悩み解決をサポートするツールをご紹介

弊社が提供するWebコミュニケーションサービス_Sharewindは、ツールの三大要素「Web会議システム、ビジネスチャット、グループウェア」の全てを有し、誰でもお手軽にはじめられます。この機会に「Sharewind」のご利用をご検討ください。

Sharewindの詳細など詳しくは
今すぐWebでチェック！



<https://www.iwatsu.co.jp/sharewind/>